

苫小牧市立清水小学校学校便り

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@city.tomakomai.hokkaido.jp

第 7 号 平成 28 年 10 月 25 日 発行



学芸会

校長 一谷 浩之

10月15日は見事な秋晴れの中、第52回学芸会を開催することが出来ました。子ども達の精一杯の発表を保護者、地域の皆様に見て頂くことが出来て心より嬉しく思い

ます。たくさんの方のご来場に心から感謝致します。

1年生の「はじめのことば」はこの日のプログラムの紹介です。堂々と精一杯の頑張りをステージで表現していました。続いての1年生「ハッピーワールド！」音楽発表なのですが普段の1年生教室で取り組んできた1年間の学習がよくわかるように表現されていました。

2年劇「にじいろのさかな」心優しくすると温かい気持ちになること。一致団結すると凄い力が生まれること。2年生にぴったりの主題でした。

5年音楽「What kind of music do you like?」見事な演奏を披露してくれました。上質なショーを見ているような構成で難しいスイングをビッグバンド風に見せてくれました。



こぶし学級劇「てんこうせい～「じゅげむ」より～」は4年生のお友達の友情出演を得ながら見事、堂々と演じきってくれました。じゅげむの長い台詞に会場から拍手がわき上がりました。拍手は児童公開の時も子ども達から沸き上がっていました。

4年劇「100万回生きたねこ」4年生らしいシンプルな演技を強調させた演劇の原点のような作品に仕上げました。涙をこぼしながら見ている観客もいました。

3年生音楽「世界の歌めぐり」子ども達だけで進行していくステージ、ボディパーカッションあり楽器あり歌ありと世界の音楽を表現していました。

6年劇「エルリックコスモスの239時間」子ども達に大人気のSF作品に6年生は挑戦しました。6年生らしい迫力のある演技、ダンスの振り付けを自分達で考え劇に挿入するなど自主性あふれる表現でした。最後の児童会長の挨拶も6年生らしく立派でした。

今回の学芸会で子ども達に期待したことはステージ上で「前を向く」ことです。精一杯自信を持って前を向いて演じて欲しい。その努力は必ず見ている人たちに認められます。ステージ下では一生懸命働く子どもの姿もありました。その姿を見て子ども達を認め励ますのは私達大人の役割です。子ども達の自信や自尊感情を育てるのは「見ている人」学校・家庭・地域の大人の存在が重要であると考えます。

これからも清水小学校の子ども達を見守って下さい。